

利用報告書

2023年6月12日

防災研究所長 殿

[利用代表者]

氏名 紀之定 剛
 職名 研究開発本部 開発部
 管理グループ 課長代理

所属機関名 タカラスタンダード株式会社
 所在地 大阪府大阪市城東区鳴野東1丁目2番1
 電話 06-6962-1509
 F A X 06-6969-7234
 E-mail アドレス kaihatu15@takara-standard.co.jp

利用目的	弊社システムバスの特徴の一つとして震度6強相当の振動にも耐える頑丈な構造を「耐震システムバス」として訴求していますが、この度構造部材の見直しを図り、同程度の耐震性を有するかの確認を行います
利用形態 (該当する項目を■にしてください)	<input type="checkbox"/> トライアルユース <input checked="" type="checkbox"/> 成果公開利用 <input type="checkbox"/> 成果非公開利用
利用期間	2023年5月22日 ～ 2023年5月26日
試験体仕様 (大きさ・重量)	システムバス グランSPA (幅1650×奥行1668×高さ2630mm・約400kg x2) A : 1616 ハイ架台 タイル洗い場仕様 B : 1616 標準架台 FRP 洗い場仕様 及び、システムバスを囲う木軸の住宅構造を模した躯体 (約100kg x2)
加振内容	①阪神淡路大震災 再現波形 (神戸波) ②熊本地震 前震 再現波形 (益城波 前震) ③熊本地震 本震 再現波形 (益城波 本震)

次項に続く

実験結果の概要	<p>Bのシステムバスにおいて浴室内からの散水試験において一部漏水が見受けられた。また、変更した対象部材に嵌合する架台において変形及びカシメ結合の脱落が見受けられた。</p> <p>Aのシステムバスにおいては浴室としての継続使用に問題となる部材の変形や漏水は一切見受けられなかった。</p>
社会、経済への波及効果の見通し	B仕様の検討部材は合格とみなせるため、より製造コストを抑えた形でのユーザーへの提供が可能になる見込み。
発生した発明・著作物など (特許名称・出願番号・出願人,雑誌掲載資料)	なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・水回り商品を扱うメーカーであるため散水試験が欠かせません。震動台上で水を扱っても問題のない設備であると助かります。 ・振動台に構造物を搬入する際に手前の一段高い部分が無ければ搬入作業が少し楽になります。・ムカデが何匹もいました。噛まれたら労災になりかねないので駆除していただきたいです。

- 1) 実験終了後、速やかに(原則1ヶ月以内に)提出下さい。
提出先:京大防災研究所 社会防災研究部門・都市空間安全制御分野
(E-mail:ito.haruko.7z@kyoto-u.ac.jp)
- 2) 知的財産権等の成果の追跡調査にもご協力宜しくお願い致します。